

【6月号：バナナの国で平泳ぎ】

<水泳：サッカーと水泳とエクアドル>

水泳はオリンピックでも行われるスポーツです。競泳とシンクロナイズドスイミング、飛び込み、水球の4つに分けられ、僕はエクアドルで主に競泳の指導をしています。

エクアドルで一番人気があるのはサッカーです。中南米ではどこでもサッカーが一番人気でしょう。今年は4年に1度のサッカーのワールドカップがありました。当然盛り上がりました。エクアドルの試合がある日は全員が特別休暇の時間です。代表と同じ黄色いTシャツを着て、テレビの前でお祭り騒ぎをします。職場では水泳指導を行っておりサッカーは関係ありませんが、もちろん仕事が休みになりました。スポーツ観戦は好きなので、ステイ先の家族と一緒に応援し楽しい時間を過ごしました。スポーツのことになる自分でもスイッチが入るようで、いつもより話していたように思います。



そんな傍ら、この国で水泳がもっと普及するには何が必要なのか考えていました。サッカーに対して少し羨ましさを感じていたのです。僕の任地は暑いです。一年中暑い気候が続くのに水泳人口はとても少なく、ほとんど児童が占めています。

大人も海水浴には行きますが、水泳まではしない。世界的に水泳は生涯スポーツと呼ばれるほど、幅広い年代に楽しんでもらえます。サッカーのように水泳をもっと多くの人に楽しんでもらいたいと思う最近です。

<食べ物：野菜補給の中華>



エクアドルには中華レストランが多いです。南米はアジア諸国にとっては地球の裏側ですが、中国の食文化はこんなにも普及していて驚きです。

場所によってメニューは違います。春巻きを提供するレストランや鉄板焼きが食べれるお店など様々です。マチャラでは鳥の揚げ物が食べれます。他でも食べれるのですが、マチャラのは少し変わっています。鳥の胸肉を叩いて平らに伸ばしてから揚げます。揚げたてはサクサクでおいしいです。残念ながら唐揚げではなく、

強いて言うならチキンフライですが、お店によってはご飯と一緒に出てくるのでお腹いっぱい食べたいときに助かるメニューです。味付けは塩胡椒で、日本人の好きな味です。

チキンフライでは野菜が不足するのでよく頼むのが牛肉と野菜の焼きそばです。館掛けそばのような感じです。肉がたっぷりなのでトレーニング後のたんぱく質摂取に便利です。一皿 500 円ほどで、エクアドルの食事としては安くはないのですが、野菜が食べれるので好きな一品です。

<メキシコ：タコスと歴史を求めて>

協力隊として活動中、認可されている任国周辺に渡航することが出来ます。1年に20日間の任国外旅行が認められています。同期の隊員が計画していたメキシコ旅行に便乗させてもらいました。

メキシコに着いて初めに驚いたのは物価の安さです。メキシコで有名な食べ物と言えばタコス。安いお店（屋台）だとタコス1つが3ペソ、日本円でおよそ25円ほどです。色々な種類があり、お気に入りには豚の煮込みのタコスでした。テキーラも有名ですが、コロナビールの生産地でもあり、市内には生コロナビールを楽しめるお店がありました。



メキシコは前から行きたい国の1つでした。メキシコシティは1968年にオリンピックが行われた場所です。大会会場や石碑を見にいきました。メキシコオリンピック委員会にも行き、突然の訪問ながら敷地内を案内して頂いたり、当時のお話をして頂きました。



日本にいる時より、エクアドルでは周囲のオリンピックへの関心の低さを感じています。2020年東京大会に向けて、もっとオリンピックのことを知ってもらおうと思い、メキシコにそのヒントがあると思って今回の旅行を決めました。

メキシコシティは標高が高く、到着して3日間は調子が良くありませんでした。しかし、旅行を終えると充実感があり、いい気分転換ができたと思います。活動も残すところ半分。振り返りと更なる挑戦の1年にしたいと思います。

写真1：エクアドル代表の試合は家族みんなでおそろいのユニフォームを着て応援します。僕の誕生日にはプレゼントでユニフォームをもらいました！

写真2：本場メキシコのタコスです。これは一番よく食べられているパストールという豚肉のタコスです。

写真3：JOCならぬCOM(メキシコオリンピック委員会)での1枚です。1964年の東京オリンピックの次がメキシコシティオリンピックでした。